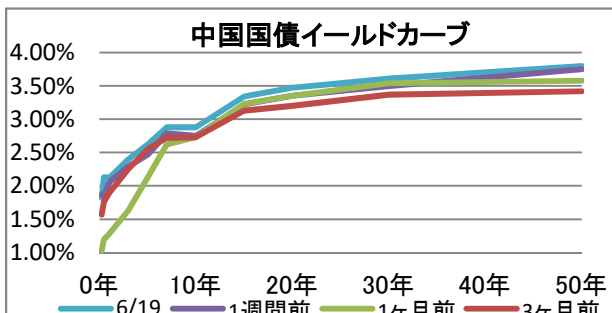
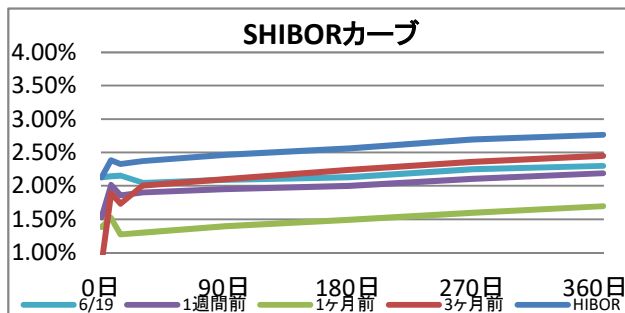


①市場概況

基準レート		2020/6/19	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0913	0.0048
	JPY/CNY	6.6287	-0.0125
SHIBOR	3M	2.1320%	+0.1760%
国債利回り	10年	2.88%	+0.13%
上海総合指数		2,967.63	+47.89



(1) 概況

新型コロナウイルスの第2波感染拡大リスクが懸念される中、政治的にはハワイでの米中会談や中国国務院常務委員会があり、金融関連では1998年、2007年に続き3回目となる特別国債発行や上海金融フォーラム開催、中国人民銀行の金融調節に注目が集まり、国債利回りが急騰し、株式市場は小幅反発する展開となった。短期の資金市場では、四半期末を控えている中で中国人民銀行の市場調節がやや厳しく見えるものの、上海金融フォーラムでの複数当局者から实体经济への金融支援発言もあって、落ち着いた展開となっている。

香港国家安全法に注目が集まる中、アメックス中国合併会社のカード決済事業参入認可やJPモルガンの金融先物合併会社の完全子会社化に加え、米国からの農産物輸入加速等の米中第一弾合意の履行が進み、上海金融フォーラムでは金融による国内企業支援の他に中国金融市場の対外開放や香港金融市場の地位堅持に対する発言も相次いでおり、全人代を終えた中国では政策が着実に実行されている印象。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、基本的に金融システム内の資金は充足されているとの認識の下、MLFについては8日に期日が到来していた5,000億元を15日に2,000億元に減額して実施し、19日に期日の到来した2,400億元も回収し、週後半にリバースオペでの月末超え資金供給実施により安定した運営を実現している。週間合計では、MLFで-400億円、リバースオペ-1,200億円、合計-1,600億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

- ・ 鉱工業生産 (5月) は、前年比+4.4% (4月+3.9%) と民間企業の回復を主因に緩やかな回復を維持し、インフラ関連から機械、自動車等に回復が拡大している。
- ・ 小売売上高 (5月) は、前年比-2.8% (4月-7.5%) とマイナス幅は縮小しているものの、4ヶ月連続での減少となっている。ただし、飲食の大幅減少は続いているものの、商品販売が前年比-0.8%まで縮小しており、個人消費が幅広い品目で拡大していることが確認できる。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1310%	2.1500%	2.1500%	
1W	2.1470%	2.5000%	2.1400%	
2W	2.1560%	2.1200%	3.6500%	2.3000%
1M	2.0480%	1.5500%	1.6500%	2.2000%
3M	2.0950%	3.2500%	2.4000%	2.1000%
6M	2.1320%	3.6500%	2.5000%	2.2000%
9M	2.2490%			2.4100%
12M	2.3000%	3.7000%		2.4200%

MLFは前週期日を迎えたMLF5,000億元と19日期日の2,400億元の合計7,400億元に対して新規2,000億元のみの実施に止まったものの、四半期末となる6月末越えの2週間のリバースオペ実施により安定が確保されている。ターム物は、四半期末越えの金利水準低下に伴い取り急ぐ向きも少なく、出合いは限定的。

NCDも、四半期末を控えて金利の上昇は一服したものの高止まりの状態が続く中、新規発行、セカンダリーともに活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.15%前後、3ヶ月が2.10%前後、6ヶ月が2.20%前後、12か月が2.40%前後と前週比で大きな変動はない。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.05%	0.06%
1W	0.11%	0.12%
1M	0.35%	0.40%
3M	0.75%	0.80%
6M	0.85%	0.90%
12M	1.00%	1.05%

引き続き四半期末を控えながら調達を急ぐ向きは少なく、金利水準も低位で安定している。ターム物は、1ヶ月が0.30%~0.40%、2ヶ月が0.50%近辺、3ヶ月が0.75%近辺で若干出合っている程度で出合いは限定的。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.82%	1.94%	2.16%	2.29%	2.78%
6M	2.13%	2.24%	2.26%	2.39%	2.87%
1Y	2.12%	2.18%	2.44%	2.59%	3.09%
3Y	2.40%	2.61%	2.93%	3.08%	3.66%
5Y	2.62%	2.84%	3.27%	3.59%	4.26%
10Y	2.88%	3.20%	3.75%	4.00%	4.78%

債券市場では、17日に特別国債（新型コロナウイルス対策関連）を7月末までに1兆元（5年、7年、10年）発行すると伝わると国債を中心に大きく売り込まれて利回りが急上昇したものの、北京での新型コロナウイルス感染確認等による第2波感染拡大への警戒感や金融緩和期待もあって利回り上昇に歯止めがかかっている。特別国債発行予定の5年、7年、10年で利率債利回りが大きく上昇しており、イールドカーブは利率債で全体的に上方にシフトしてスティーピング化したものの、信用債では利回りが小幅低下して小幅ながらフラットニングが続いており、クレジットスプレッドは長期を中心に縮小に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	27.5 / 28.0
1M	116.0 / 119.0
3M	295.0 / 300.0
6M	535.0 / 540.0
9M	765.0 / 770.0
12M	990.0 / 999.0

対ドル基準レートは7.0913と前週末比+48pipsのドル高元安、対円基準レートは6.6287と同-125pipsの円安元高と小幅な変動に止まった設定となっている。国内市場では、新型コロナウイルスの第2波感染拡大への懸念から7.08台を挟んだ値動きに終始し、ハワイでの米中会談での第一次合意事項である農産物購入加速や対話継続が伝わり、レンジ内での取引が続くこととなった。

先物は、ドル金利が低水準で安定的に推移する一方、人民元短期金利が四半期末に向けて極端な変動はないものの上昇を続けていることから、スワップ幅は拡大している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.08%		1.70%
6M	2.07%	2.18%	1.70%
9M	2.07%	2.29%	1.70%
1Y	2.08%	2.32%	1.64%
3Y	2.22%	2.60%	1.65%
5Y	2.38%	2.84%	
7Y	2.56%	3.04%	
10Y	2.76%	3.28%	

低下に転じていた金利スワップは、短期の基準金利が上昇し、国債利回りも急上昇していることから、全体的に上方シフトしている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、国債利回りの急上昇による縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。